

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成19年11月29日(2007.11.29)

【公開番号】特開2005-234587(P2005-234587A)

【公開日】平成17年9月2日(2005.9.2)

【年通号数】公開・登録公報2005-034

【出願番号】特願2005-45350(P2005-45350)

【国際特許分類】

**G 09 G 5/02 (2006.01)**

**H 04 N 1/40 (2006.01)**

**H 04 N 1/46 (2006.01)**

**G 09 G 5/00 (2006.01)**

**G 09 G 5/36 (2006.01)**

【F I】

G 09 G 5/02 B

H 04 N 1/40 1 0 1 Z

H 04 N 1/46 Z

G 09 G 5/00 5 2 0 H

G 09 G 5/36 5 2 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月15日(2007.10.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の色成分データから成る画像を処理する画像処理装置であって、

擬似ランダムノイズ平面を生成するノイズ生成手段と、

前記色成分データ毎に空間オフセットを異なるようにして前記擬似ランダムノイズ平面を付加し、前記色成分データのノイズ補償画像データを生成するノイズ補償画像データ生成手段と、

を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】

複数の色成分データから成る画像を表示するディスプレイシステムであって、

擬似ランダムノイズ平面を生成するノイズ生成手段と、

前記色成分データ毎に空間オフセットを異なるようにして前記擬似ランダムノイズ平面を付加し、前記色成分データのノイズ補償画像データを生成するノイズ補償画像データ生成手段と、

前記ノイズ補償画像データを量子化する量子化手段と、

前記量子化手段により量子化されたノイズ補償画像データを表示するスクリーンと、  
を備えることを特徴とするディスプレイシステム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0023】

本発明は、上述のごとき実情に鑑みてなされたものであり、計算が簡単であり画像の空間解像度を低減させない、擬似輪郭の除去又は低減方法を利用した画像処理装置及びディスプレイシステムを提供することをその目的とする。

## 【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0024】

第1の技術手段は、複数の色成分データから成る画像を処理する画像処理装置であって、擬似ランダムノイズ平面を生成するノイズ生成手段と、前記色成分データ毎に空間オフセットを異なるようにして前記擬似ランダムノイズ平面を付加し、前記色成分データのノイズ補償画像データを生成するノイズ補償画像データ生成手段とを備えることを特徴とするものである。

第2の技術手段は、複数の色成分データから成る画像を表示するディスプレイシステムであって、擬似ランダムノイズ平面を生成するノイズ生成手段と、前記色成分データ毎に空間オフセットを異なるようにして前記擬似ランダムノイズ平面を付加し、前記色成分データのノイズ補償画像データを生成するノイズ補償画像データ生成手段と、前記ノイズ補償画像データを量子化する量子化手段と、前記量子化手段により量子化されたノイズ補償画像データを表示するスクリーンとを備えることを特徴とするものである。